

たい ぼうりよく

こうどうけいかく

子どもたちに対する暴力をなくすための行動計画



2015年に、「誰1人取り残さず、みんなが元気に活躍できる社会をつくるための目標(SDGs※)」を決めた時、2030年までに子どもたちに対する暴力を完全になくすことを、世界のみんで約束しました。

日本もそのことに率先して取り組むことを決め、この行動計画をつくりました。

「子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)」には、子どもに関係のあることを決める時、子どもは意見を言うことができること、子どもたちにはどのような暴力も受けられない権利があることなど、世界中の子どもたちのもつ権利が定められています。行動計画は、条約にもとづいて子どもの権利を守っていくことにも深く関係しています。

※ SDGs(Sustainable Development Goals)は、「持続可能(じぞくかのう)な開発目標(かいはつもくひょう)」のこと



「行動計画(こうどうけいかく)」って、どんなもの？

どれだけの日本の子どもたちが暴力ぼうりょくにあっているのかを知って、どうしたら
 誰も暴力ぼうりょくにあわないようになるのか、そのために誰だれが何をししていくのか、
 決めたことをまとめたものです。



誰(だれ)がつくったの？

国の関係者かんけいしゃ、専門家せんもんか、子どものための活動かつどうをしている人たちなど、たくさんの
 人たちが話し合あひってつくりました。「子どもパブコメ」で集あつまった子どもたちの
 声もいかされています。

※パブコメ(パブリックコメント)とは、国の計画などをつくる時などに参考さんこうにするために、
 多くの人たちの意見いけんを聞くことです。



暴力(ぼうりょく)って、どんなこと？

みなさんの心や体が傷きずつけられるようなすべてのことです。

たとえば・・・

- 虐待ぎゃくたい:親まわや周りのおとなから、ひどいことを言われる、たたかれる、けられる、
 きちんと世話せわしてもらえない
 <全国ぜんこくの児童相談所じどうそうだんじょで1日500件以上(2019年度)、虐待ぎゃくたいかもしれない、という相談そうだんがよせられて
 います>
- 性的搾取せいせきさくしゆなど:水着みずぎでかかれるような場所を見られる、触さわられる、写真しゃしんを撮ら
 れる、見せられる、触さわらされる
 <年間2,000人以上(2019年)の子どもがSNSなどを通じて性犯罪せいはんざいなどにまきこまれています>
- いじめ:友だちなど同年代どうねんだいの人から、悪口わるぐちを言われる、無視むしされる、たたかれ
 る、けられる
 <学校がいじめがあったと考えている数は、1日あたり1,600件以上(2019年度)です>
- 体罰たいばつ:学校の先生まわや親、周りのおとなから、「しつけ」(例えば、あなたが悪い
 ことをしたからと言われて)という理由りゆうでたたかれる、けられる
- スポーツにおける暴力ぼうりょく:スポーツの練習れんしゅうや指導しどうの中で、ひどいことを言われ
 る、たたかれる、けられる、心や体が傷きずつくくらいの練習れんしゅうをさせられる



「子どもパブコメ」～子どもたちの声をききました

子どもに関係のあることを決める時、子どもの意見をきくことは、とても大切なことです。そこで、「子どもパブコメ」を行って、子どもたちに意見をききました。「子どものSOS(エスオーエス。助けをもとめること)に気づいてほしい」「相談しやすい環境をつくってほしい」「暴力について教えてほしい」など、たくさんの意見が集まりました。

おとなが取りくんでいくこと

●声を聞く

これからも、子どもたちの意見を聞いて、暴力をなくすために必要なことを一緒に考え、取りくみます。

●早く気づいて助ける

暴力にあっている子どもがいないか、学校、児童相談所など、いろいろな関係者やおとなが協力して、できるだけ早く気づき、助けるために動きます。暴力にあってしまった子どもをずっと支えていきます。

●相談しやすくする

暴力にあっている、あっているかもしれない子どもが相談しやすいように、学校、SNSなど、いろいろな相談できるしくみを整えます。

●伝える

子どもが暴力にあわないように、子どもを傷つけてはいけないということを、キャンペーンなどをおこなって社会に広く伝えていきます。子どもたちが自分やまわりの人を守れるよう、大切なことを伝えていきます。

●しくみやルール

暴力をなくすための法律、しくみやルールをきちんと実行し、さらに整えていきます。



計画をつくったあとは、どうなるの？

「行動計画」で決めたことに協力して取りくみ、きちんと実行されているかチェックします。3年たったなら計画を見直します。その時も、子どもたちの声をききます。



こまったときは

相談しよう

- 24時間子供SOSダイヤル — 文部科学省
0120-0-78310(なやみ言おう)
いじめやそのほかのSOSを、24時間相談できます



- 子どもの人権110番 — 法務省
0120-007-110 平日朝8時半～夕方5時15分
いじめや虐待など、なんでも相談できます
メールでも相談できます
<https://www.jinken.go.jp/kodomo>



- 全国児童相談所虐待対応ダイヤル — 厚生労働省
189 (いちはやく) … SOSをいちはやくキャッチ
24時間、地域の児童相談所につながります



- ぴったり相談窓口 — 警察庁
質問に答えていくと、ぴったりの相談窓口がわかります
<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/annai/>



- 都道府県警察の少年相談窓口 — 警察庁
いじめ、犯罪などの被害について警察に相談できます
<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/soudan.html>



もっと知ろう

- 子どもパブコメ — 日本ユニセフ協会
https://www.unicef.or.jp/endviolence/kodomo_comment/



- 知ってほしい、みんなの権利。聞かせてほしい、きみの声。 — Yahoo!きっず
<https://kids.yahoo.co.jp/event/mag/kiminokoe/>



関係府省庁連絡会議（内閣府、警察庁、法務省、外務省、文部科学省、厚生労働省）

制作協力:日本ユニセフ協会 | Yahoo! JAPAN(Yahoo!きっず)